

2025 年 11 月 9 日（日）第二礼拝「主がイスラエルを選んだ理由」詩篇 67 篇 1～7 節

神様は、多くの民族の中でイスラエルを選ばれました。イスラエルはヤコブです。神様は、アブラハムの祝福を切に求めるヤコブを選び、アブラハムの祝福を流してくださいました。

第一番目、霊的祝福を求めることです。私たちが霊的に生きた状態の時、私たちを呼ばれる神様の声を聞くことができます。これは霊的祝福です。アブラハムは、神様が「あなたは、あなたの生まれ故郷を離れ、わたしの示す地(エルサレム)へ行きなさい。」と言われたのを聞きました。エルサレムは、イエス様が私たちの罪のために十字架にかかり、救いを完成された場所であり、イエス様はふたたび雲に乗ってエルサレムに來られます。過去、現在、未来、永遠を越えてすべてを支配されるイエス様の御顔を、アブラハムは霊の目で見、信じました。それゆえ、アブラハムは祝福となり、彼を祝福する者は祝福され、呪う者は呪われました。ヤコブはこの祝福を切に求めました。兄エサウはこの世を愛しましたが、ヤコブは天幕に留まり、母リベカからアブラハムの祝福について聞いていました。長子の権利を軽視したエサウから、ヤコブはレンズ豆一杯でその権利もらい、リベカと共謀し、父イサクから祝福をもらいました。エサウから逃げる途中、ヤコブは天のはしごを上り下りするマハナイン軍隊も見ました。ヤコブは霊的祝福を切に求めたのです。アブラハムの祝福を受ける私たちの内にも天のはしごがあり、天使たちが私たちの祈りを天に上げ、その祈りは実現されます。

第二番目、ヤベツの祈りです。ヤベツとは「苦しみ」という意味です。苦しみの中で生まれたヤベツは、イスラエルの神に「私を大いに祝福し、私の地境を広げてくださいますように。…」と祈りました。ヤベツは神様の霊的祝福を受けてから変えられました。同様に、ヤコブも十四年間叔父ラバンの家で無報酬で働くなど、苦しみを何度も経験しましたが、ヤコブには祈りがありました。ヤコブが神様に祝福を切に求めた結果、神様はヤコブを豊かに祝福してくださり、財産や子どもたちを増やされました。その後、ヤコブはラバンやエサウに追われ殺されそうになりますが、神様がヤコブを助け、いのちを守ってくださいました。ヤコブはヤボク川を渡る前に、主と格闘しました。彼はもものつがいを外され、神だけに頼る者とされ、名前をイスラエルに変えられました。このように、ヤコブが祝福されたのは、彼が良い人だったからではなく、神様の御顔を求め、アブラハムの祝福を求めたからです。

第三番目、イスラエルの祝福が異邦人の祝福になりました。「…あなたの御救いがすべての国々の間に知られるためです。…国々の民がこぞってあなたをほめたたえますように。」(本文 2～3 節) ヤコブの祝福が国々の祝福となったように、私たちの持つ祝福が周りに広がり、人々が主を賛美するようになります。もし、自分が偉いと思うなら、その瞬間墮落してしまいます。ソロモンの第一神殿と第二神殿は、高ぶったゆえにアブの月の九日に壊されました。私たちが一番警戒しないといけないのは、高ぶりです。主だけに栄光を返さなければいけません。私たちの霊が生かされ、悔い改め、へりくだって歩む時、神様は私たちの地境を広げてくださり、神の国は増え広がり、事業もまた祝福されるでしょう。アーメン！